Drサンスポ

50、60代だけじゃない!! 20・30代で発症の恐れも…

月に1回「口チェック」して防ごう

口腔がん

口腔の病気といえば歯を思い浮かべるが、大人世代なら口腔がんへの注意も心がけよう。口腔がんは一般的には50、60代から発症する病気だが、最近は20、30代での発症も増えている。がんができる部位は、歯肉、舌と歯肉の間の口腔底、口蓋、頬粘膜、唇などの口の中全域だが、最頻発の硬口蓋、頬粘膜の実例の硬口蓋、頬粘膜は、早期発見・治療すれば90%以上が治るという。大切なのは、「習慣的に口の中をチェック」。異変をいち早く発見することが、口腔がんに詳しい昭和大学歯学部の新谷悟教授に、がんの早期発見と予防法などを聞いた。

昭和大学歯学部
新谷悟教授

★しんたに・さとる　1988年、岡山大学歯学部卒。同年、昭和大学歯学部口腔外科研修医。98年より現職。日本口腔外科学会評議員・専門医・指導医ほか。著書に「開業医だから簡単にできる口腔外科」。92年、愛知県がんセンター研究所口腔外科研修。岡山大学歯学部口腔外科助教授を経て、2001年に愛知大学医学部歯科口腔外科学講座教授就任。08年より現職。専門は口腔がん、口腔外科一般。日本口腔外科学会評議員・専門医・指導医ほか。著書に「開業医だから簡単にできる口腔がん」など。

◆口腔がん危険度チェック◆

項目	該当
★歯磨きや入れ歯の手入れを怠るなど、口の中が不衛生	
★合わない入れ歯や硬い歯が擦れるなどの刺激がある	
★よく飲酒する	
★喫煙の習慣がある	
★国語から鉄分やビタミン不足を指摘されたことがある	
★よく口内炎になる	
★過去にがんになったことがある	

※当てはまる項目が多い人ほど、口腔がんになりやすい

早期発見なら90%以上治る

Q 口腔がんの主な原因は何ですか？

A 虫歯や抜けた歯の先端などが舌などに傷がつきやすくなります。割れた義歯や合わない義歯の使用も問題。義歯を止めるクリップの不具合などは歯肉を刺激します。たばこやアルコールの影響などにより、傷がついた部分などにがん細胞ができやすくなります。

Q 自覚症状は？

A 素人ではなかなか気づきません。舌にできたくらいのがんがあっても気づかない人もいます。

Q 早期発見は難しい？

A 口の中は自分で確認しやすく、感覚も敏感。早期発見できると思いがちですが、歯ぐきや舌の表面に発見される確率の高いほうがんでも約90%、口腔がんは、早期に発見、治療すれば90%以上治るし、舌・食べる・飲むといった機能ほとんど障害を残さない。早期発見を心がけてほしいです。

虫歯や抜けた歯放置せず

Q 口腔がんの検査方法を教えてください。

A 私は義歯のある歯肉の一部を切り取り、顕微鏡で観察する組織検査を行います。私の病院では翌日、通常は1週間ほどで結果が判明します。

Q 歯医者に行くべきポイントは？

A 上顎洞化膿症として、口腔がんなども発見されることがあります。歯ぐきや舌の表面に発見される確率の高いほうがんでも約90%、口腔がんは、早期に発見、治療すれば90%以上治るし、舌・食べる・飲むといった機能ほとんど障害を残さない。早期発見を心がけてほしいです。

割れたり合わない義歯の交換を

Q 口腔がんの検査方法を教えてください。

A 私は義歯のある歯肉の一部を切り取り、顕微鏡で観察する組織検査を行います。私の病院では翌日、通常は1週間ほどで結果が判明します。

Q 歯医者に行くべきポイントは？

A 上顎洞化膿症として、口腔がんなども発見されることがあります。歯ぐきや舌の表面に発見される確率の高いほうがんでも約90%、口腔がんは、早期に発見、治療すれば90%以上治るし、舌・食べる・飲むといった機能ほとんど障害を残さない。早期発見を心がけてほしいです。

Q 口腔がんの検査方法を教えてください。

A 私は義歯のある歯肉の一部を切り取り、顕微鏡で観察する組織検査を行います。私の病院では翌日、通常は1週間ほどで結果が判明します。

Q 歯医者に行くべきポイントは？

A 上顎洞化膿症として、口腔がんなども発見されることがあります。歯ぐきや舌の表面に発見される確率の高いほうがんでも約90%、口腔がんは、早期に発見、治療すれば90%以上治るし、舌・食べる・飲むといった機能ほとんど障害を残さない。早期発見を心がけてほしいです。

Q 万一、がん細胞が見られた場合は